

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居時に重度化・終末期対応指針、重度化・看取り指針により説明しているが、その段階での意思確認の記録が残っていない。 終末期の事前確認書が活用されていない。	重度化した場合や終末期のあり方について、変化しうるものであることを踏まえ、その都度話し合い、確認書を用いて意思を確認する。	終末期のあり方について本人や家族の意思を早い段階から確認するために、既存の「終末期の事前確認書」を入居契約時に提示説明し文書にまとめておく。 また、時間の経過や心身の状態の変化に応じて主治医を交えて話し合っているが、その都度「確認書」を用いて意思を確認し、文書にまとめておく。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。